

# 自治医科大学多地域研究ネットワーク推進事業 JMSⅡコホート研究：参加協力をお願い



自治医科大学地域医療学センター  
事業責任者：中村好一（公衆衛生学部門教授）

早春の候、皆様方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。近頃地域医療のことが何かと話題になることが多く、地域医療に従事する医師を育てる大学としてますます責任の大きさを痛感しております。

健康で長生きをすることは万人の願いです。生活習慣によって起こる高血圧、糖尿病、メタボリックシンドロームなどの病気は、たとえ症状がなくとも脳卒中や心筋梗塞といった病気の危険因子となるとされています。食べ過ぎや運動不足などが生活習慣病の原因となりますが、それ以外にも喫煙、飲酒、ストレス、睡眠不足など多くの生活習慣が関係していると考えられています。どんな人が脳卒中や心筋梗塞になりやすいかなどを調べる方法として、健康なうちにデータを取っておいて、何年もかけて追跡調査をし、病気になった人とならなかった人との間での違いを検討する方法をコホート研究と呼びます。

地域医療を実践するに当たり、その地域の健康状況を把握し、検討することは重要です。自治医科大学では、全国で卒業生が活躍しており、そのネットワークを生かして、平成4年度から17年度まで今回の研究の前身であるJMSコホート研究を行い、血圧の上昇やストレスなどが脳卒中や心筋梗塞の危険因子であることなどを報告しています。さらに、平成15年度から5年間にわたって21世紀COEプログラム大規模地域ゲノムバンク推進事業を行いました。今回、その事業を引き継ぎ、平成21年度より「自治医科大学多地域研究ネットワーク推進事業」が開始され、その中で第2弾としてJMS コホート研究を行うことになりました。JMS コホート研究は、検診を通して住民の方の健康状態を把握し、その後、脳卒中や心筋梗塞の発症などについて10年間の追跡調査を行う研究で、全国の市町村によびかけて約10,000人の参加者を募る予定です。アンケートで確認する生活習慣に加えて、血液や尿検査、さらに、遺伝の要素を加味しながら検討することを計画しています。また、今、話題になっているソーシャルキャピタル（いわゆる地域力）なども調査する予定です。

自治医科大学のある下野市においても市のご協力を得て、平成22年度の検診においてJMS コホート研究のベース調査を行うことになりました。つきましては、検診時に追加の調査などがございますが、この調査研究にご理解をいただき、ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

研究事務局：自治医科大学地域医療学センター 准教授 石川鎮清  
下野市薬師寺3311-1 ☎58-7394

## 保健メモ ● 3月号 3月16日→4月15日

月 日	内 容	受付時間	対 象 者	場 所
3月16日(火)	4か月児健診	13:00～13:30	平成21年11月生(石橋)	きらら館
3月18日(木)	1歳6か月児健診	13:00～13:30	平成20年8月生(国分寺・南河内)	ゆうゆう館
3月24日(水)	赤ちゃん広場	9:45～10:00	平成21年11月・12月生	ゆうゆう館
	ポピーくらぶ	10:00～11:30	就園前のお子さん	きらら館
4月5日(月)	ポリオ予防接種	13:30～14:00	生後3か月～90か月までのお子さん で2回接種していない方	ゆうゆう館
4月9日(金)	ポピーくらぶ	10:00～10:30	8か月～1歳6か月のお子さん リトミックを行います	きらら館
4月12日(月)	3歳児健診	13:00～14:00	平成19年1月生	ゆうゆう館
4月13日(火)	1歳6か月児健診	13:00～14:00	平成20年9月生	ゆうゆう館
4月14日(水)	ポピーくらぶ	15:00～11:30	就園前のお子さん	きらら館
4月15日(木)	赤ちゃん広場	9:45～10:00	平成22年1月生・2月生	きらら館

※4月から乳幼児健診については、全地区を対象に、ゆうゆう館1か所での実施となります。